

日本気象学会

## 九州支部だより

No. 149 2024年7月



発行者  
日本気象学会九州支部  
〒810-0052  
福岡市中央区大濠1-2-36  
福岡管区気象台  
地域防災推進課内

Tel: 092-725-3614  
Mail: info@msj-kyushu.jp  
HP: <http://msj-kyushu.jp/>

今回の記事

- ◆第43期九州支部新理事の紹介
- ◆九州支部2024年度第1回理事会報告
- ◆支部事務局からのお知らせ

## 第43期九州支部 新理事の紹介

## 九州支部事務局

今年度は支部理事（任期2年、2024年6月1日から2026年5月31日まで）の改選期にあたり、4月12日に第43期理事の選挙告示（支部ホームページへの掲載および支部会員宛メールにより選挙実施の通知と立候補受付のお知らせ）を行い、4月29日の立候補期限までに9名の会員から立候補の届出がありました。支部規約により、信任投票（有効投票総数の過半数の信任を得た場合当選）となりました。これを受け5月9日に選挙公示を行い事務局から支部会員宛に公示文および投票用紙等を郵送しました。5月24日到着分まで郵送による投票を受け付け、4月時点の支部会員176名のうち99名（投票率56.3%）から投票がありました。

開票結果は支部ホームページに掲載しているとおり、立候補された9名の方が全員当選となりました。今回の選挙で当選された第43期の九州支部理事は次のとおりです。

（立候補届出順、敬称略）

竹村 俊彦	九州大学応用力学研究所・教授
河野 香	九州大学応用力学研究所・日本気象予報士会西部支部
植田 亨	鹿児島地方気象台・台長
鈴木 賢士	山口大学大学院創成科学研究科農学系学域・教授
藤 貴志	福岡管区気象台・気象防災部長
望月 崇	九州大学大学院理学研究院・准教授
河本 和明	長崎大学大学院総合生産科学研究科・教授
尾崎 友亮	福岡管区気象台・台長
西 憲敬	福岡大学理学部地球圏科学科・教授

# 九州支部 2024年度第1回理事会報告

九州支部事務局

理事会はZoomによるオンラインで開催しました。  
以下のとおり報告します。

【日 時】2024年6月3日（月） 18時00分～19時35分 オンラインで開催

【出席者】（理事）尾崎支部長、竹村常任理事、望月常任理事、西常任理事、藤常任理事、  
鈴木理事、河本理事、河野理事、植田理事  
（幹事）福永事務局長、逆瀬川幹事、松本幹事

## 【議事概要】

事務局長より、理事全員の出席で理事会が成立していることが報告され、議事次第に沿って、事務局長の司会により議事が進められた。会議の主な内容は以下のとおり。

### 1 第43期理事選挙結果報告

選挙管理委員会に代わり事務局長から理事選挙の結果について、報告された。開票の結果、立候補者9人全員が信任されたことが報告された。

### 2 支部長、常任理事選出

理事の互選により、尾崎友亮氏が支部長に、竹村俊彦氏、望月崇氏、西憲敬氏、藤貴志氏が常任理事に選出された。その他理事は以下のとおり。（次頁）

役職	名前	所属
支部長	尾崎 友亮	福岡管区気象台
常任理事	竹村 俊彦	九州大学応用力学研究所
常任理事	望月 崇	九州大学大学院理学研究院
常任理事	西 憲敬	福岡大学理学部地球圏科学科
常任理事	藤 貴志	福岡管区気象台気象防災部
理事	鈴木 賢士	山口大学大学院創成科学研究科農学系学域
理事	河本 和明	長崎大学大学院総合生産科学研究科
理事	河野 香	九州大学・日本気象予報士会西部支部
理事	植田 亨	鹿児島地方気象台
事務局長	福永 信悟	福岡管区気象台地域防災推進課
幹事	逆瀬川 健一	福岡管区気象台地域防災推進課
幹事	花房 瑞樹	福岡管区気象台地域防災推進課
幹事	松本 寛寿	福岡管区気象台地域防災推進課
会計監査員	三好 勉信	九州大学大学院理学研究院

### 3 2023年度事業報告

#### 3-1 理事会

#### 3-2 会員向け研究会など

(ア) 第45回支部発表会（ハイブリッド開催）

#### 3-3 一般向け行事

(ア) 気象教室

(イ) ジュニアセッションin九州

(ウ) 気象サイエンスカフェ

#### 3-4 支部だより

#### 3-5 支部奨励賞

#### 3-6 ホームページ

#### 3-7 会員数

#### 3-8 決算報告、会計監査報告

事務局から、決算を含めて2023年度の事業について報告された。事業報告および決算報告については特段の意見はなかった。

### 4 2024年度事業計画案

#### 4-1 理事会

#### 4-2 会員向け研究会など

(ア) 第46回支部発表会

- ・開催時期は、2025年3月2日（日）を予定とすることで承認された。
- ・開催方法は、会場開催を基本とし、地方開催を検討することで承認された。

#### 4-3 一般向け行事

##### (ア) 第25回気象教室

- ・開催時期は、2024年9月～11月を予定に検討することで承認された。

##### (イ) ジュニアセッションin九州

- ・今年度も支部発表会と同時開催とする案で承認された。

##### (ウ) 気象サイエンスカフェin九州

- ・開催時期は、2024年12月頃を予定に検討することで承認された。

#### 4-4 支部だより

#### 4-5 支部奨励賞

#### 4-6 日本気象学会奨励賞受賞候補者推薦

#### 4-7 ホームページ

#### 4-8 会員数の拡大

#### 4-9 2025年度秋季大会

「8. 2025年度秋季大会の開催に向けて」にて詳述

#### 4-10 2024年度予算案

- ・前年度からの繰越金で事業活動を計画した。
- ・支部発表会など地方開催も検討することから、参加者交通費などを計上している。
- ・理事からは、繰越金で計画している支部は他にあるのかとの質問があり、事務局からは関西支部が本部からの交付金なしで事業計画を行っている旨説明し、これ以外に意見はなかった。

## 5 担当理事の分担

(事務局案の協議) 今年度の担当が以下の表のとおり確認された。

項目	担当理事
支部発表会	竹村理事（九大）、望月理事（九大）、藤理事（福気象）
気象教室	竹村理事（九大）、望月理事（九大）、藤理事（福気象）
気象サイエンスカフェin九州	望月理事（九大）、藤理事（福気象）、河野理事（予報士会）
ジュニアセッション	望月理事（九大）、藤理事（福気象）、河本理事（長崎大）
支部奨励賞	竹村理事（九大）、鈴木理事（山口大）、河本理事（長崎大）、西理事（福岡大）、河野理事（予報士会）、植田理事（鹿気象）
支部だより	鈴木理事（山口大）：「支部会員からの便り」7月分 西理事（福岡大）：「支部会員からの便り」9月分 河野理事（予報士会）：「支部会員からの便り」12月分 植田理事（鹿気象）：「支部会員からの便り」3月分
日本気象学会奨励賞	藤理事（福気象）

## 6 本部理事会からの報告など

竹村理事（本部理事）から報告があった

- 学会の大会についてのワーキンググループが立ち上がっており、年2回の開催から年1回の開催に移行することがほぼ決まっている。年1回になれば九州での開催は十数年に1回となる見込みだが、これまで2回に分けていたことを1回でやることになるので開催の負担は今まで以上になる。来年の大会は年2回ある年度で、九州支部で秋の大会を主催するという形になるのではないかと思う。
- 支部運営の今後のあり方について本部の理事会としても支部との連携を取りながら気象庁に依存した事務局の運営を見直すことになっており、そのあたりを意識しながら、今後の2年間で準備期間になる。
- 気象集誌についてはこれまでJ-STAGEのシステムからシュプリングネイチャーのシステムに移行することが決まり契約も進み今年度には移行予定。
- 会員数が減少しており学会について魅力的なコンテンツを本部で議論する必要がある。

## 7 支部運営の今後のあり方について

理事から以下の意見、要望が出された。

- 気象庁と学会のあり方が変わってきており、本部ワーキンググループにおいても2027年から支部運営について新たな体制が望ましいとなっている。
- 気象庁全体として、支部事務局を気象庁が担う形を解消していく方向性を目指しながら、学会と气象台でどういう連携ができるか検討していく。
- 气象台が気象学会から全く手を引くということではなく、气象台も普及啓発などに関しては協力していくようなスタンスはもっており、气象台として学会は重要なパートナーであり協力しながら進めていくところも目指している。
- 本部理事会は、気象庁に依存してきた体制をどのように移行していくのか、各支部で意見を募りたいという立場であり、各支部が支部活動の運営主体となって、そこで各气象台が事務局を担っている状況を解消していくことが大きな方針となっている。
- 九州支部でも理事の間で議論の場を設け、気象庁（气象台）に依存しない支部運営を今後2年間で検討し、本部に意見を上げる必要があり、この2年間は事務局の業務を把握し自らが事務局を担うという観点で行事に取り組んでいただきたい。
- 事務局でワーキンググループを立ち上げるなど今のところそこまで突き詰めていないが、理事の方から自発的なご意見をいただきたい。

## 8 2025年度秋季大会の開催に向けて

事務局から、開催日程を2025年11月4日（火）～8日（土）と予定していること、会場は福岡国際会議場を仮予約していること、また費用面では会場費の高騰など過去の大会に比して大幅な増額が予想されること、さらにはシンポジウム開催やハイブリッド形式とするか否かによっても費用や負担が増加することなど、厳しい財務状況に関する報告が行われ、理事からは主に以下の意見が出された。

- 来年の福岡大会の費用は高額になることが予想されるため、本部理事会では費用や予算に関することを共有しているが、予算関係のことは本部でも把握していない理事が多く、今後は本部理事会でも決めて行かねばならない。
- 参加費については値上げが必要ではないか。
- 平日は働いている方も多く、土曜日にも開催されるのであれば、5日通しの参加費は高額なため、参加費を区切るなどすればかなり参加しやすくなるのではないかと思う。
- 大学の教員など研究費から参加費を払える方々については値上げをし、個人負担の方や一部だけ参加される方については値下げするなどの料金体系を設定する議論は必要である。
- 開催形式は、本部としては多数の方が参加出来るようにハイブリッド形式が基本との意見であり、各実行委員会に決定権はあるためあくまで本部からの要請ではあるものの、例えば子育て世代など福岡に来れない方も相当多く、そのような方にも参加の場を提供するために支部としてもハイブリッドを目指したいところ。
- 費用の高騰により懸念される大会運営費の確保については、参加費値上げや本部からの開催費充当、協賛金獲得は支部でなく本部にて対応することなどを強く要望していく。
- シンポジウムはこれまで春大会で行われてきたが、今後秋大会との一本化になることを見据えて、来年の秋大会では、小倉レクチャーの継続開催も必要であるし、シンポジウムもテスト的に開催したい。その場合、シンポジウムのテーマは「気象業務150周年」にしてもよいのではないかと思う。
- 開催形式などについては今後、準備委員会において議論、決定していく。

以上、提案された議案はすべて承認された。

# 支部事務局からのお知らせ

## 事務局メンバー交代

九州支部の事務局は福岡管区気象台地域防災推進課で担当しています。メンバーは4月の人事異動により、事務局長を含め4人全員が交代しました。今年度は福永事務局長、逆瀬川幹事、花房幹事、松本幹事が担当しますのでよろしくお願いいたします。

## メールアドレスの登録および変更のお願い

支部事務局から会員の皆さんへの連絡やお知らせには、主に電子メールを利用しています。現在、支部会員の方にはメールアドレスを登録いただいています。しかし、メールを送付した際に、送信エラーや不達などのメッセージが返ってくることがあります。職場の異動、学校の卒業・就職や進学などでメールアドレスが変更になっている可能性がありますので、確認をお願いします。

アドレスの変更や新規の登録については、支部事務局までご連絡ください。事務局からのメールは、一斉送信する際にはBCCで送信するため、他の会員にメールアドレスが知られることはありませんのでご安心ください。

## 学会への入会のお誘い(会員増加への協力お願い)

九州支部の会員数は、次ページの九州支部年別会員数の推移グラフのとおりです。近年は横ばい状態にありますが、長期的には減少傾向となっています。これは九州支部だけではなく全国的な傾向です。

学会の活動は会費で運営されており、会員数の減少は将来的には学会の活動に支障を来たすおそれもあります。職場や学校などで気象学に興味をお持ちの方がおられましたら是非入会を勧めていただくようお願いします。

入会手続きについては、支部事務局へ連絡いただくか、学会のホームページをご確認ください。

## 九州支部 年別会員数の推移(2014年度～2024年度)

